

# 世界が注視する中国の権力闘争

## —薄熙来解任と党大会人事の行方

横浜市立大学名誉教授 矢吹晋



- \* 清水美和さんとの私的会話
- \* 王立軍亡命未遂事件のすべて
- \* 薄熙来解任の経過
- \* 解任に至る舞台裏
- \* 英国MI5、MI6が絡む
- \* パウエル卿の発言の真意
- \* 常務委員昇格のため関係清算か
- \* 薄一波ファミリーと陳雲ファミリー
- \* 米国に通告済みの軍事委人事
- \* 常務委員人事に大勢影響なし

**浅野** それでは開会いたします。（拍手）今日は中国のお話で、横浜市立大学名誉教授の矢吹晋さんにおいでいただきました。

実は東京新聞論説主幹の清水美和さんが先日亡くなられました。私がチャイナウオッチャーとして尊敬する矢吹さんと清水さんですが、その清水さんに3月頃でしたか、講演をお願いしたのでですね。そうしましたら「すい臓がんで体調が悪いけれどもはってでも参上します」とメールで言ってくださっていたのです。本当に残念ですけれども、急遽、矢吹さんに代わりをお願いして快諾いただきました。矢吹さんは清水さんとは盟友ですから病院で最後に会われた友人ということになるかと思えます。

今日は、清水さんのご冥福を祈りながら講演

をお聞きしたいと思えます。タイムミングよく薄熙来氏の話が中心になりますけれども、これは新聞では絶対わからないような裏の裏をたくさん話していただけるはずですよ。では矢吹さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

**矢吹** 皆さんこんにちは。今日はいへん楽しみにしてきました。というのは、ちょうど私がしゃべりたいネタが全部出揃ったという感じがしています。

浅野さんからご紹介がありましたように、清水さんが本来この席で話す予定だったわけですよ。私は4月1日、虫の知らせで「見舞いに行ってもいいか？」というメールを彼に送ったのです。すかさず返信メールが来まして、慈恵医大病院だというので地図を見ているうちに今度は携帯